



梅檀（せんだん）は二葉より芳し

2025年「今年の漢字」は「熊（くま）」の文字が選ばされました。日本各地で「熊」が出没し、国民の関心と不安が集中したこと、「熊」猫（パンダ）が和歌山県から中国へ返還されたことなどが理由として挙げられました。今年の川角小学校での生活を振り返ったとき、私にとっての漢字1文字は「賞（しょう）」です。今年は展覧会、コンクール、スポーツの大会などで川角小学校の児童が活躍し、多くの児童が表彰されました。学校の取り組みにおいても詩の暗唱や自主学習ノート、読書bingo、百マス計算検定などで多くの児童に「すばらしい賞」として缶バッジを渡すことができました。そして、日々の学校生活において一人一人の児童が先生の話やお友達の発表などをしっかりと聞き、勉強に運動に意欲的に取り組んでいる姿はとてもすばらしく、川角小学校の全ての児童に「賞」を贈りたい気持ちを表しています。校歌にも使われている「せんだんの木」には、「梅檀（せんだん）は二葉より芳し」ということわざがあります。これは、香木のせんだんは、芽生えた時からすでによい香りを放つ。才知のすぐれた人は、幼少の頃からすでに並はずれた素質を表すという意味です。このことわざのように川角小学校の児童一人一人はすばらしい素質を持っています。これからも児童の才能をより伸ばせるよう学校・家庭・地域が一体となって教育活動を行ってまいりたいと思います。今後ともご協力をお願いいたします。

（※「熊」「賞」の文字は6年生の児童が書いてくれました。ありがとうございます。）



コミュニティ・スクールの取組

11月26日に6年生が山根荘で活動しているサークルの皆様と交流会を行いました。多くの講座を開催していただき楽しい時間を過ごすことができました。



12月19日に6年生が農産物加工センターでゆず搾り体験を行いました。毛呂山町の特産品である日本最古の生産ゆず「桂木ゆず」を搾りながら桂木ゆずの香り、味について学びました。



25日から年明け6日まで冬休みとなります。どうぞ健康に気をつけて、穏やかな年明けになるようお祈りいたします。

よいお年をお迎えください